

SIT + KU + NUCE gPBL: 自然災害に対する地圏の 防災・減災技術に関するワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2020年02月08日 ~2020年02月16日	日本	カセサート大学 ハノイ土木大学	・土木工学科 ・学部1年生、学部2年 生、学部3年生、学部4年 生	(芝浦工業大学) 学生24名、TA6名、教 員1名 (カセサート大学) 学生20名、TA1名、教 員3名 (ハノイ土木大学) 学生19名	稲積 真哉(土木工学科)



図1 集合写真

芝浦工業大学豊洲キャンパスにおいて、日本、タイならびにベトナムに共通する自然災害(豪雨災害等)から地圏・水圏を守る防災・減災技術の提案をテーマとしたグローバルPBLを実施した。当該グローバルPBLでは本学から土木工学科の学生が参加し、カセサート大学ならびにベトナム国立建設大学の学部生ならびに大学院生と協力し、自然災害に強靱な都市の創造を提案した。具体的には、東京都内において地盤防災に関連した建設現場の見学、さらには理想的な都市創造の一例として東京オリンピックの開催に向けて整備中である東京湾岸の見学も行い、最後には各グループでその成果を議論・発表・共有した。また、タイにおける地盤防災、とりわけ地盤改良に関する建設現場や斜面が崩壊した現場のレクチャーも行い、タイ・バンコクにおける自然災害(豪雨災害等)の脅威を理解したとともに、自然災害から地圏・水圏を守る防災・減災技術の現状も理解した。当該グローバルPBLの実施を通じて本学土木工学科の学生は、自らが専攻する土木工学が世界の自然災害からの強靱化に如何に貢献する学問であるか、また、他国において土木工学を専攻する学生が何を考え、何を目標しているかを英語を通じて理解する良い経験となった。



図2 講義



図3 活動の様子



図4 最終発表会